

# ZENworks 11 SP4 システム更新 (11.4.1) Readme

2015 年 12 月

Novell.

この Readme は、ZENworks 11 SP4 用の 11.4.1 システム更新に関する情報を提供します。

- ◆ 1 ページのセクション 1 「ZENworks 11.4.1 に更新する重要な理由」
- ◆ 2 ページのセクション 2 「バージョンの 11.4.1 の展開の計画」
- ◆ 4 ページのセクション 3 「バージョン 11.4.1 のダウンロードと展開」
- ◆ 7 ページのセクション 4 「バージョン 11.4.1 で解決された問題」
- ◆ 7 ページのセクション 5 「ZENworks 11.4.1 で引き続き存在する問題」
- ◆ 7 ページのセクション 6 「バージョン 11.4.1 での既知の問題」
- ◆ 15 ページのセクション 7 「保証と著作権」

## 1 ZENworks 11.4.1 に更新する重要な理由

この更新は、ZENworks の旧リリースで見つかった問題をいくつか修正するほか、新機能も導入します。

- ◆ 1 ページのセクション 1.1 「Java Runtime 7 から Java Runtime 8 への更新」
- ◆ 2 ページのセクション 1.2 「新しいプラットフォームのサポート」
- ◆ 2 ページのセクション 1.3 「管理ブラウザサポート」

### 1.1 Java Runtime 7 から Java Runtime 8 への更新

Java Runtime 7 パブリックアップデートは Oracle によってサポートされなくなりました。詳細については、[Java の Web サイト](#)を参照してください。ZENworks 11.4.1 は、サポートされているプラットフォームの Java Runtime をバージョン 7 からバージョン 8 に更新します。

ZENworks 11.4.1 は、次のプラットフォームの Java Runtime はバージョン 8 に更新しません。

- ◆ Windows Server 2008 SP2 x86、x86\_64 (Datacenter、Enterprise、および Standard の各エディション)
- ◆ Windows Server 2008 R2 x86\_64 (Datacenter、Enterprise、および Standard の各エディション)
- ◆ Embedded XP SP3 (WES 2009) x86
- ◆ Windows XP Professional SP3 x86
- ◆ Windows XP Tablet PC Edition SP3 x86
- ◆ Windows 7 x 86、x86\_64 (Professional エディション、Ultimate エディション、および Enterprise エディション)
- ◆ Windows Embedded 7
- ◆ Macintosh 10.8.2 以前のバージョン

Novell では、これらのデバイスを **Java 8** でサポートされるバージョンに更新することをお勧めします。これにより、**Oracle** から定期的にリリースされる **Java 8** 用の重要なセキュリティアップデートを確実に受け取ることができます。

## 1.2 新しいプラットフォームのサポート

ZENworks 11.4.1 では、次のプラットフォームがサポートされています。

- ◆ Windows 10 x86、x86\_64 (Professional、Education、Enterprise、および Enterprise LTSC の各エディション)
- ◆ SLES 10 SP3 および SP4 x86、x86\_64
- ◆ SLES 11 SP4 x86、x86\_64
- ◆ SLED 11 SP4 x86、x86\_64
- ◆ Macintosh 10.11.x (EL Capitan)

システム要件の詳細については、『[ZENworks 11 SP4 システム要件](#)』を参照してください。

---

### 重要

- ◆ SLES 12 オペレーティングシステムは、イメージング操作 (取得と復元) をサポートしません。
- 

## 1.3 管理ブラウザサポート

ZENworks 11.4.1 では、次の Web ブラウザがサポートされています。

- ◆ Firefox ESR バージョン 38.3
- ◆ Firefox バージョン 40.x および 41.x

## 2 バージョンの 11.4.1 の展開の計画

管理ゾーン内での ZENworks 11.4.1 の展開を計画するには、次のガイドラインを使用します。

- ◆ ZENworks 11.4.1 にアップグレードする前に、前提条件となる更新を ZENworks 11 SP4 サーバに適用します。この更新を実行しない限り、以降の手順に進むことはできません。
- ◆ ZENworks 11.4.1 へのアップグレードが完了すると、システムは再起動します。この再起動は Windows デバイスのみが対象です。ただし、次の場面では再起動が 2 回必要になります。

表1 再起動が2回必要な場面

場面	ZENworks Endpoint Security	Full Disk Encryption	ロケーションサービス	クライアントセルフディフェンス
10.3.4 以上から 11.4.1 へのアップグレード	無効	無効	ライト	有効
11.4.1 の新規インストール	無効	無効	ライト	有効
11.4.1 の新規インストール	無効	無効	フル	有効

**重要** : 10.3.4 より前のバージョンが実行されている管理対象デバイスは、最初に ZENworks 10.3.4 以上にアップグレードする必要があります。システムは ZENworks 10.3.4 へのアップグレード後に再起動し、11.4.1 アップデートの展開時にもう一度再起動します。

表2 11.4.1 への ZENworks 累積エージェントアップデート: サポートされるパス

管理対象デバイスのタイプ	オペレーティングシステム	サポートされるバージョン	サポートされないバージョン
プライマリサーバ	Windows/Linux	v11.4.x 以上のバージョン	11.4.x より前の任意のバージョン
サテライトサーバ	Windows/Linux/Mac	v10.3.4 以上のバージョン	10.3.4 より前の任意のバージョン
管理対象デバイス	Windows	v10.3.4 以上のバージョン	10.3.4 より前の任意のバージョン
	Linux	v11.0 以上のバージョン	NA
	Mac	v11.2 以上のバージョン	NA

- ◆ システム更新をインストールする前に、次の場所に十分な空きディスク容量があることを確認してください。

場所	説明	ディスク容量
<b>Windows:</b> %zenworks_home%\install\downloads <b>Linux:</b> opt/novell/zenworks/install/downloads	エージェントパッケージを管理するための Downloads フォルダ	3GB
<b>Windows:</b> %zenworks_home%\work\content-repo <b>Linux:</b> /var/opt/novell/zenworks/content-repo	zip ファイルをコンテンツシステムにインポートするための content-repo フォルダ	3GB
エージェントキャッシュ	ZENworks サーバを更新するために必要な、該当するシステム更新コンテンツをダウンロードするため	1.5GB

場所	説明	ディスク容量
システム更新ファイルがコピーされる場所	ダウンロードしたシステム更新 zip ファイルを保存するため	3GB

**注:** これは、システム更新 zip ファイルをインポートするために使用される ZENworks サーバにのみ適用されません。

- 最初にプライマリサーバ、次にサテライトサーバ、最後に管理対象デバイスという順番でバージョン 11.4.1 を展開する必要があります。ゾーン内のすべてのプライマリサーバが 11.4.1 にアップグレードされるまで、管理対象デバイスおよびサテライトサーバにこの更新を展開しないでください (または、新しい 11.4.1 エージェントをゾーンに展開しないでください)。

**注:** プライマリサーバをアップグレードする前にエージェントが ZENworks サーバとの通信を開始した場合、エージェントは整合性のないデータを受け取り、これがゾーンに影響を及ぼすおそれがあります。したがって、プライマリサーバは短時間でアップグレードする必要があります。互いに数分以内にアップグレードするのが理想的です。

- Update For ZENworks 11 SP4 (11.4.1) は ZENworks 11.4.0 に代わるものです。
- ZENworks 10.3.4、11.0.0、11.1.0、11.2.0、11.2.0 MU1、11.2.0 MU2、11.2.1、11.2.1 MU1、11.2.1 MU2、11.2.2、11.2.2 MU1、11.2.2 MU2、11.2.3a、11.2.3a MU1、11.2.4、11.2.4 MU1、11.3.0、11.3.0a、Win 8.1 for 11.3.0、Win 8.1 for 11.3.0a、11.3.0 FRU1、11.3.1、11.3.1 FRU1、11.3.2、11.3.2 FRU1、または 11.4 がインストールされているサテライトサーバおよび管理対象デバイスには、ZENworks 11.4.1 を直接展開できます。

### 3 バージョン 11.4.1 のダウンロードと展開

バージョン 11.4.1 をダウンロードして更新として展開する方法については、『ZENworks 11 SP4 システム更新リファレンス』を参照してください。

管理ゾーンが ZENworks 11 SP4 より前のバージョンのプライマリサーバで構成されている場合、これらのプライマリサーバをすべて ZENworks 11 SP4 にアップグレードして「11 SP4 以降に更新するための前提条件」を適用しない限り、それらのプライマリサーバに ZENworks 11.4.1 を展開することはできません。手順については、『ZENworks 11 SP4 アップグレードガイド』を参照してください。

11 SP4 以降に更新するための前提条件の詳細については、ZENworks 11 SP4 システム更新 (11.4.1) [Readme](#) を参照してください。

管理タスクについては、Novell ZENworks マニュアルの [Web サイト \(https://www.novell.com/documentation/zenworks114/\)](https://www.novell.com/documentation/zenworks114/) を参照してください。

**重要:** ゾーン内のすべての結合プロキシサテライトサーバが更新されるまで、Remote Management (RM) Viewer を更新しないでください。結合プロキシ経由で Remote Management を実行するには、RM Viewer のバージョンと結合プロキシのバージョンが同じであることを確認してください。

11.4.1 アップデートをダウンロードして展開する前に、必ず 2 ページの [セクション 2 「バージョンの 11.4.1 の展開の計画」](#) を読んでください。

## ゾーン内のすべてのプライマリサーバとサテライトが ZENworks 11 SP4 にアップグレードされるまで、ZENworks\_11.4.1\_Update.zip を展開しない

この更新では、データベースのスキーマを変更する必要があります。最初のパッチのインストール時には1つのプライマリサーバのみでサービスを実行し、他のプライマリサーバがデータベース内の変更中のテーブルにアクセスしないようにしてください。

マスタまたは専用のプライマリサーバが更新されたら、残りのサーバでサービスを開始して更新を同時に適用できます。

11.4.1 の管理ゾーン内でサポートされる管理対象デバイスおよびサテライトサーバのバージョンのリストについては、次の ZENworks サポート対応表を参照してください。

表3 ZENworks サポート対応表

管理対象デバイス	サテライトサーバ	プライマリサーバ
v10.3.4	v10.3.4、v11.0、v11.1、v11.2、v11.2 MU1、v11.2 MU2、v11.2.1、v11.2.1 MU1、v11.2.1 MU2、v11.2.2、v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、v11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2 FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.0	v11.0、v11.1、v11.2、v11.2 MU1、v11.2 MU2、v11.2.1、v11.2.1 MU1、v11.2.1 MU2、v11.2.2、v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.1	v11.1、v11.2、v11.2 MU1、v11.2 MU2、v11.2.1、v11.2.1 MU1、v11.2.1 MU2、v11.2.2、v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2	v11.2、v11.2 MU1、v11.2 MU2、v11.2.1、v11.2.1 MU1、v11.2.1 MU2、v11.2.2、v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2 MU1	v11.2 MU1、v11.2 MU2、v11.2.1、v11.2.1 MU1、v11.2.1 MU2、v11.2.2、v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2FRU1、v11.4	v11.4.1

管理対象デバイス	サテライトサーバ	プライマリサーバ
v11.2 MU2	v11.2 MU2、v11.2.1、v11.2.1 MU1、v 11.2.1 MU2、v11.2.2、v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2.1	v11.2.1、v11.2.1 MU1、v 11.2.1 MU2、v11.2.2、v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2.1 MU1	v11.2.1 MU1、v 11.2.1 MU2、v11.2.2、v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2.1 MU2	v11.2.1 MU2、v11.2.2、v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2.2	v11.2.2、v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2.2 MU1	v11.2.2 MU1、v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.3a MU1、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2 FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2.2 MU2	v11.2.2 MU2、v11.2.3a、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2 FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2.3a MU1	v11.2.3a MU1、v11.2.3a、v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2 FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2.4	v11.2.4、v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2 FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.2.4 MU1	v11.2.4 MU1、v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、11.3.0 FRU1、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2 FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.3.0	v11.3.0a、Windows 8.1 Update for v11.3.0a、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2 FRU1、v11.4	v11.4.1

管理対象デバイス	サテライトサーバ	プライマリサーバ
v11.3.0 Windows 8.1 Update	v11.3.0a Windows 8.1 Update、v11.3.0 FRU1、v11.3.1、11.3.1 FRU1、v11.3.2、11.3.2 FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.3.0 FRU1	11.3.0 FRU1、11.3.1、11.3.1 FRU1、11.3.2、11.3.2 FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.3.1	11.3.1、11.3.1 FRU1、11.3.2、11.3.2 FRU1、v11.4	v11.4.1
v11.3.1 FRU1	11.3.1 FRU1、11.3.2、11.3.2 FRU1、11.4	v11.4.1
v11.3.2	11.3.2、11.3.2 FRU1、11.4	v11.4.1
v11.3.2 FRU1	11.3.2 FRU1、11.4	v11.4.1

## 4 バージョン 11.4.1 で解決された問題

このリリースでは、ZENworks 11 SP4 の初期リリースで特定された問題がいくつか解決されています。解決された問題のリストについては、[Novell サポートナレッジベース \(https://www.novell.com/support/kb/doc.php?id=7016895\)](https://www.novell.com/support/kb/doc.php?id=7016895) の TID 7016895 を参照してください。

## 5 ZENworks 11.4.1 で引き続き存在する問題

ZENworks 11 SP4 の旧バージョンで明らかになった問題のうち、一部は依然として解決されていません。詳細については、次の **Readme** ドキュメントを参照してください。

- ◆ [ZENworks 11 SP4 Readme](#)

## 6 バージョン 11.4.1 での既知の問題

- ◆ 8 ページのセクション 6.1「オペレーティングシステムを **SLES** または **SLED 11 SP4** にアップグレードすると、ZENworks 11.4.1 デバイスで **Zicon** のプロパティページが空白で表示される」
- ◆ 9 ページのセクション 6.2「**SLES 10 SP3** または **SP4 32** ビットエージェントでのリモート接続時に、「**INVALID PROTOCOL (無効なプロトコル)**」というメッセージが表示される」
- ◆ 9 ページのセクション 6.3 「**[User Management (ユーザ管理)]** 機能が有効になっている場合、**Windows 7** から **Windows 10** へのマイグレーションに失敗する」
- ◆ 9 ページのセクション 6.4 「ディスク暗号化ポリシーが適用されている場合、**Windows 7**、**8**、または **8.1** から **Windows 10** へのマイグレーションに失敗する」
- ◆ 10 ページのセクション 6.5 「**Windows 7** から **Windows 10** へのマイグレーション後、いくつかの ZENworks サービスが自動的に開始しないことがある」
- ◆ 10 ページのセクション 6.6 「**DHCP** ネットワークパラメータを指定して作成した場所が **SLES 12** デバイスに適用されない」
- ◆ 10 ページのセクション 6.7 「**SNMP** 検出によってオペレーティングシステムが **Windows 10** ではなく **Windows 8.1** として検出される」
- ◆ 10 ページのセクション 6.8 「ZENworks アプライアンスの **[Min and Max Permanent Generation sizes (Permanent 領域の最小および最大生成サイズ)]** が更新されない」
- ◆ 11 ページのセクション 6.9 「**HTTP** プロキシがポート番号なしで指定されている場合、**Windows** 管理対象デバイスでリモート管理操作に失敗する」

- ◆ 11 ページのセクション 6.10「インベントリのみエージェントが ZENworks 11.4 から ZENworks 11.4.1 に更新されない」
- ◆ 12 ページのセクション 6.11 「ダウンロードしたパッチを ZENworks Adaptive Agent で SLED 12 マシンにインストールできない」
- ◆ 12 ページのセクション 6.12 「すでにオペレーティングシステムがインストールされているデバイスに、MDT 展開バンドルを適用してオペレーティングシステムを再インストールすると、無限ループが発生する」
- ◆ 13 ページのセクション 6.13 「MDT タスクの状態として 4 以外の値を指定した場合、デバイスの動作が一貫しなくなる」
- ◆ 13 ページのセクション 6.14 「Windows 10 デバイスでイメージの復元を実行してデバイスを再起動した場合、Windows の一部の機能が動作しないことがある」
- ◆ 14 ページのセクション 6.15 「Tuxera を使用した ZENworks イメージングは、Sysprep を使用した Windows 10 でサポートされない」
- ◆ 14 ページのセクション 6.16「11.4.1 プライマリサーバから 11.4 結合プロキシサテライトサーバを使用して 11.4 エージェントでリモート管理操作を行うと失敗する」
- ◆ 14 ページのセクション 6.17「Mac OS X 10.10 および 10.11 管理対象デバイスをサテライトサーバとして使用できない」
- ◆ 14 ページのセクション 6.18 「ゾーンに新しく追加されたプライマリサーバに初めて ZENworks 11.4.1 を割り当てると、エラーメッセージが表示される」
- ◆ 14 ページのセクション 6.19 「Mac エージェント上でマニュアルページが機能しない」
- ◆ 15 ページのセクション 6.20 「RAM サイズが 1GB 以下の場合、SLES 11 SP3 VMware プラットフォーム上でエージェントが機能しない」
- ◆ 15 ページのセクション 6.21 「SLES 10 SP3 または SP4 イメージングサーバが ZENworks 11.4.1 プライマリサーバと通信できない」

## 6.1 オペレーティングシステムを SLES または SLED 11 SP4 にアップグレードすると、ZENworks 11.4.1 デバイスで Zicon のプロパティページが空白で表示される

ZENworks 11.4.1 デバイスでオペレーティングシステムを SLES 11 SP3 から SLES または SLED 11 SP4 にアップグレードすると、Zicon のプロパティページが空白で表示されます。

解決策：オペレーティングシステムを SLES または SLED 11 SP3 から SLES または SLED 11 SP4 にアップグレードした後、エージェントを停止し、`osgiclean` パラメータを指定してエージェントを再起動する必要があります。

- 1 `/etc/init.d/novell-zenworks-xplatzmd stop` コマンドを実行してエージェントを停止します。
- 2 `/etc/init.d/novell-zenworks-xplatzmd start --osgiclean` コマンドを実行してエージェントを再起動します。



## 6.2 SLES 10 SP3 または SP4 32 ビットエージェントでのリモート接続時に、「INVALID PROTOCOL (無効なプロトコル)」というメッセージが表示される

SLES 10 SP3 または SP4 32 ビットエージェントでのリモート接続時に、エージェントに「INVALID PROTOCOL (無効なプロトコル)」というメッセージが表示され、アクションが失敗します。

解決策: SLES 10 SP3 または SP4 32 ビットエージェントに、バンドルを使用して 11.4.1 の `zrm-service` バイナリまたは `novell-zenworks-xplat-zmd-rmagent-native-11.4.1-0.i586.rpm` を展開します。

## 6.3 [User Management (ユーザ管理)] 機能が有効になっている場合、Windows 7 から Windows 10 へのマイグレーションに失敗する

マイグレーション前に ZENworks 管理ゾーンで [User Management (ユーザ管理)] 機能が有効になっていた場合、Windows 7 から Windows 10 へのマイグレーションに失敗します。マイグレーションを実行すると、ブルースクリーンが発生します。

解決策: 次の手順を実行します。

- 1 **Device (デバイス) > Work stations (ワークステーション)** の順に選択して、目的のデバイスを選択します。
- 2 **Settings (設定) タブ > Device management (デバイス管理)** の順に移動して、**ZENworks Agent (ZENworks エージェント)** をクリックします。
- 3 **ZENworks Agent (ZENworks エージェント)** で、**override settings (設定の上書き)** リンクをクリックします。
- 4 **Agent Features (エージェント機能) > User Management (ユーザ管理)** の順に選択して、**Install (インストール)** チェックボックスをオフにします。
- 5 **適用** をクリックします。
- 6 ZENworks エージェントコンソールに移動し、**Refresh (更新)** を使用して最新の情報に更新します。
- 7 プロンプトが表示されたらデバイスを再起動し、マイグレーションを続行します。  
マイグレーションが完了したら、[User Management (ユーザ管理)] 機能を有効にします。

## 6.4 ディスク暗号化ポリシーが適用されている場合、Windows 7、8、または 8.1 から Windows 10 へのマイグレーションに失敗する

デバイスに Full Disk Encryption ポリシーが適用されている場合、Windows 7、8、または 8.1 から Windows 10 へのマイグレーションに失敗します。マイグレーションを実行すると、ブルースクリーンが発生します。この状態になった場合、マイグレーションをロールバックして Windows 7、8、または 8.1 オペレーティングシステムに戻すしかありません。

解決策: マイグレーションの実行前に、デバイスからディスク暗号化ポリシーを削除し、デバイスのドライブが復号化されていることを確認します。

## 6.5 Windows 7 から Windows 10 へのマイグレーション後、いくつかの ZENworks サービスが自動的に開始しないことがある

Windows 7 から Windows 10 へのマイグレーション後、Novell ZENworks Agent Service や ZES Service など、いくつかの ZENworks サービスが自動的に開始しないことがあります。

解決策：これらの ZENworks サービスを手動で開始します。

## 6.6 DHCP ネットワークパラメータを指定して作成した場所が SLES 12 デバイ스에適用されない

DHCP ネットワークパラメータを指定して作成した場所が SLES 12 デバイ스에適用されません。

解決策：ありません

## 6.7 SNMP 検出によってオペレーティングシステムが Windows 10 ではなく Windows 8.1 として検出される

SNMP 検出によってオペレーティングシステムが Windows 10 ではなく Windows 8.1 として検出されます。

解決策：ありません

## 6.8 ZENworks アプライアンスの [Min and Max Permanent Generation sizes (Permanent 領域の最小および最大生成サイズ)] が更新されない

ZENworks 11.4.1 は、サポートされているプラットフォームの Java Runtime をバージョン 7 から 8 へアップグレードします。Java 8 Runtime では、permsize および maxpermsize プロパティはサポートされません。これらのプロパティは、それぞれ MetaspaceSize および MaxMetaspaceSize プロパティに置き換えられます。ただし、[Appliance Configuration (アプライアンスの設定)] (Basic (基本) タブ) には、これまでと同様に [Min and Max Permanent Generation sizes (MB) (Permanent 領域の最小および最大生成サイズ (MB))] が表示され、MetaspaceSize および MaxMetaspaceSize プロパティは更新されません。

解決策：次の手順に従って、MetaspaceSize および MaxMetaspaceSize プロパティのサイズ (MB 単位) を編集します。

- 1 [ZENworks Appliance Configuration (ZENworks アプライアンスの設定)] で、Advanced (詳細設定) タブをクリックします。
- 2 次のファイルの MetaspaceSize および MaxMetaspaceSize プロパティのサイズを変更します。
  - ◆ ZENServer: ZENServer>conf の順に移動し、zenserversettings.sh ファイルを開きます。
  - ◆ ZENLoader: ZENLoader に移動し、ZENLoader JVM Settings ファイルを開きます。

## 6.9 HTTP プロキシがポート番号なしで指定されている場合、Windows 管理対象デバイスでリモート管理操作に失敗する

Windows 管理対象デバイスでは、`zac sp <ip_addr:port_number>` コマンドを実行して HTTP プロキシを設定できます。ポート番号を指定せずにリモート管理操作を実行した場合、Remote Management サービスは適切に機能しません。

解決策 : `zac sp <ip_addr:port_number>` コマンドを実行し、ポート番号が指定されていることを確認して、Remote Management サービスを再開します。

## 6.10 インベントリのみエージェントが ZENworks 11.4 から ZENworks 11.4.1 に更新されない

ZENworks 11 SP4 サーバを 11.4.1 にアップグレードしてから、インベントリのみエージェントに対して 11.4 から 11.4.1 へのシステム更新を実行した場合、エージェントが更新されません。

解決策 : ZENworks 11 SP4 のインベントリのみエージェントにシステム更新を適用する前に、次の手順を実行します。

Linux の場合 :

- 1 `vi ~/.bash_profile` コマンドを実行して `bash_profile` ファイルを開きます。
- 2 このファイルに次の内容を追加します。

```
export JAVA_HOME=/opt/novell/zenworks/share/zmd/java
export PATH=$PATH:$JAVA_HOME/bin
```
- 3 変更を確認するため、`source ~/.bash_profile` コマンドを実行するか、いったんログアウトしてからログインします。
- 4 JAVA バージョンを確認するため、`java -version` コマンドを実行します。

Mac の場合 :

- 1 `vim .bash_profile` コマンドを実行して `bash_profile` ファイルを開きます。
- 2 このファイルに次の内容を追加します。

```
export JAVA_HOME=/opt/novell/zenworks/share/zmd/java
export PATH=$PATH:$JAVA_HOME/bin
```
- 3 変更を確認するため、`source .bash_profile` コマンドを実行するか、いったんログアウトしてからログインします。
- 4 JAVA バージョンを確認するため、`java -version` コマンドを実行します。

## 6.11 ダウンロードしたパッチを ZENworks Adaptive Agent で SLED 12 マシンにインストールできない

SLED 12 には rpm-python.rpm ファイルがインストールされていないため、ダウンロードしたパッチを ZENworks Adaptive Agent で SUSE Linux Enterprise Desktop (SLED) 12 マシンにインストールできません。

解決策：次の手順に従って、rpm-python.rpm ファイルをインストールします。

- 1 SLED 12 Adaptive Agent を [SUSE Customer Center \(SCC\)](#) に登録します。
- 2 SLED 12 マシンで、*Applications* (アプリケーション) > *System Tools* (システムツール) > *YaST* の順に選択して YaST を起動します。
- 3 *Software Settings* (ソフトウェア設定) で *Software Management* (ソフトウェア管理) を選択します。
  - 3a *Search* (検索) フィールドに「python」と入力します。
  - 3b *rpm-python* チェックボックスをオンにします。
  - 3c *Accept* (同意する) をクリックし、*Continue* (続行) をクリックします。
  - 3d *完了* をクリックします。

## 6.12 すでにオペレーティングシステムがインストールされているデバイスに、MDT 展開バンドルを適用してオペレーティングシステムを再インストールすると、無限ループが発生する

すでにオペレーティングシステムがインストールされているデバイスに、MDT 展開バンドルを適用してオペレーティングシステムを再インストールすると、無限ループが発生します。PXE ブート時に、デバイスは毎回同じ MDT バンドルを選択します。この問題は、デバイスにオペレーティングシステムを再インストールできるようにディスクを準備する際に、MDT (Microsoft Deployment Toolkit) が ZISD (ZENworks Image Safe Data) を消去するために発生します。このため、イメージングサーバはデバイスに割り当てられているイメージング作業の状態を認識できず、状態が消去されません。

解決策：次のいずれかの方法を実行します。

### 方法 1

- 1 バンドル内にアップロードされた MDT WIM がブート時に使用する、対応する MDT Deployment Share をカスタマイズします。ISDTool.exe を使用して MBR を消去します。
  - 1a ZENworks の [Download (ダウンロード)] ページ ([https://zenworks\\_server\\_IP\\_address:port/zenworks-setup](https://zenworks_server_IP_address:port/zenworks-setup)) の [Imaging Tools (イメージングツール)] から、32 ビット版の ISDTool.exe をダウンロードします。このファイルを MDT Deployment Share の /Tools/x86 フォルダに配置します。
  - 1b ZENworks の [Download (ダウンロード)] ページ ([https://zenworks\\_server\\_IP\\_address:port/zenworks-setup](https://zenworks_server_IP_address:port/zenworks-setup)) の [Imaging Tools (イメージングツール)] から、64 ビット版の ISDTool.exe をダウンロードします。このファイルを MDT Deployment Share の /Tools/x64 フォルダに配置します。

- 1c MDT Deployment Share の Scripts フォルダにある ZTIDiskpart.wsf スクリプトファイルを開き、次の行を「Open an instance for diskpart.exe, and dynamically pipe the commands to the program」という行のすぐ上に挿入します。

```
Dim sampCmd Dim aScriptDir Dim aArchitecture aScriptDir =  
oFSO.GetParentFolderName(WScript.ScriptFullName) aArchitecture =  
oEnvironment.Item("Architecture") sampCmd = aScriptDir & "..\tools\" & aArchitecture &  
"ISDTool.exe mdt cleandisk " & iDiskIndex oShell.Exec(sampCmd)
```

このスクリプトにより、デバイスが MDT WIM をブートして、カスタマイズされた MDT Deployment Share を使用する際に、MDT が ZISD データを消去しないようにします。

## 方法 2

- 1 デバイスに MDT Deployment バンドルを適用する前に、イメージングスクリプトプレブートバンドルを使用して MBR を消去します。
  - 1a ZENworks でイメージングスクリプトプレブートバンドルを作成します。Script Text (スクリプトテキスト) として次のコマンドを追加します。

```
dd if=/dev/zero of=/dev/sdX count=1 bs=512
```

ここで、/dev/sdX はディスクです。X には a、b、c などの値を指定できます。
  - 1b デバイスでイメージングスクリプトプレブートバンドルを適用します。
  - 1c デバイスに必要な MDT 展開バンドルを適用します。

---

**重要:** このオプションは十分に注意して使用してください。上の dd コマンドは MBR を消去します。このコマンドを実行すると、オペレーティングシステムはブートしなくなります。したがって、このコマンドは、デバイスにオペレーティングシステムを再インストールする前にのみ実行してください。

---

### 6.13 MDT タスクの状態として 4 以外の値を指定した場合、デバイスの動作が一貫しなくなる

ISDTool で MDT (Microsoft Deployment Task) のタスクの状態として 4 以外の数値を指定した場合、デバイスの動作が一貫しなくなります。

解決策: ありません。ISDTool で MDT のタスクの状態として必ず 4 を指定する必要があります。

### 6.14 Windows 10 デバイスでイメージの復元を実行してデバイスを再起動した場合、Windows の一部の機能が動作しないことがある

Windows 10 デバイスで、Sysprep を実行せずにイメージを復元してデバイスを再起動した場合、Windows の [スタート] メニューや他の Windows の機能 (Cortana や Metro アプリケーションなど) が動作しないことがあります。

解決策: ありません。Sysprep を使用せずにイメージを取得する場合は、『[ZENworks 11 SP4 Preboot Services およびイメージングリファレンス](#)』の「[Prerequisites for taking an Image on Windows 10 without Sysprep](#)」の項を参照してください。

## 6.15 Tuxera を使用した ZENworks イメージングは、Sysprep を使用した Windows 10 でサポートされない

Sysprep を使用した Windows 10 デバイスのイメージを、Tuxera ドライバを使って取得した場合、復元されたデバイスはブートしません。

解決策：ありません

## 6.16 11.4.1 プライマリサーバから 11.4 結合プロキシサテライトサーバを使用して 11.4 エージェントでリモート管理操作を行うと失敗する

11.4.1 プライマリサーバから 11.4 結合プロキシサテライトサーバを使用して 11.4 エージェントをリモート制御しようとする、操作に失敗します。結合プロキシのバージョンが 11.4 で Remote Management Viewer のバージョンが 11.4.1 の場合、結合プロキシを使用してリモート制御を行うことはできません。

解決策：結合プロキシサテライトサーバを更新します。

## 6.17 Mac OS X 10.10 および 10.11 管理対象デバイスをサテライトサーバとして使用できない

Mac OS X 10.10 および 10.11 管理対象デバイスはサテライトサーバとして使用できません。これは、設定されたサテライトサーバのポートをエージェントが OS X のファイアウォールで開くことができないためです。この問題は、ZENworks エージェントが OS X のファイアウォールのポートを開くために ipfw ユーティリティに依存しているために発生します。OS X 10.10 から ipfw ユーティリティは廃止されています。Apple では、この目的には pfctl ユーティリティを使用することを推奨しています。

解決策：ありません

## 6.18 ゾーンに新しく追加されたプライマリサーバに初めて ZENworks 11.4.1 を割り当てると、エラーメッセージが表示される

ゾーンに新しく追加されたプライマリサーバに初めて ZENworks 11.4.1 を割り当てると、エラーメッセージが表示されます。

解決策：エラーメッセージでキャンセルボタンをクリックして、更新を再割り当てします。

## 6.19 Mac エージェント上でマニュアルページが機能しない

Mac エージェント上でマニュアルページが機能しません。

解決策：Mac の一般的なコマンドを使用するように、MANPATH 変数の設定を解除できます。ただし、それでも ZENworks 固有のコマンドは動作しません。

## 6.20 RAM サイズが 1GB 以下の場合、SLES 11 SP3 VMware プラットフォーム上でエージェントが機能しない

VMware プラットフォーム用の SLES 11 SP3 の RAM サイズが 1GB 以下の場合、エージェントは適切に機能しません。

解決策 : SLES 11 SP3 VMware プラットフォームの RAM サイズを 1GB より大きいサイズに増やす必要があります。

## 6.21 SLES 10 SP3 または SP4 イメージングサーバが ZENworks 11.4.1 プライマリサーバと通信できない

SLES 10 SP3 または SP4 サーバの OpenSSL がデフォルトバージョンの場合、11.4.1 プライマリサーバとの通信が切断されます。

解決策 : 必須の FTF ([https://bugzilla.novell.com/show\\_bug.cgi?id=958701](https://bugzilla.novell.com/show_bug.cgi?id=958701)) を適用します。

# 7 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出管理規定およびその他の国の輸出関連法規の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。

Novell ソフトウェアの輸出の詳細については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。Novell は、お客様が必要な輸出承認を取得しないことについては、いかなる責任も負わないものとします。

Copyright © 2015 Novell, Inc. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、出版社の書面による許可なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、転送を行ってはなりません。

Novell の商標については、「[商標とサービスマークの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。